

序 文

近年、向上訓練の実施をめぐるいろいろな工夫がなされ、数多くの実践報告がみられるようになってきている。しかしながら、公共訓練施設における向上訓練としてまさに向上訓練らしい訓練とはどのようなものか、についてはかならずしも十分な検討がなされていない。

そこで、本報告は「半自動溶接技能クリニック」と称する向上訓練コースを設定・実施することにより、向上訓練にふさわしい訓練コース設定のあり方を探ろうとするものである。

この向上訓練コースのねらいは、第一に、溶接技能に熟練しているとみられる、ある在職者についてその技能の範囲、程度などを診断し、その結果にもとづき標準的な技能との対比を行い、不足している分野・程度などについて技能の補正指導ないしは追加訓練を行うものである。第二に、見よう見まねで技能を習得したがために実務はこなせるが理論的な裏づけがない方については溶接の理論的な知識が得られ、溶接技能者としての技術力の向上に結びつくことが期待されるものである。

本報告が向上訓練の内容の充実、いわば質的向上について一石を投ずることとなり、向上訓練担当の先生方から実務的、臨床的な角度からの御意見を頂ければ研究担当者にとって無上の励みになると思います。

昭和60年3月

職業訓練研究センター

所長 多賀谷 敏 夫

溶接技能クリニック研究委員会 委員

妹 島 五 彦 （日本電機工業会専務理事 工学博士）

藤 原 喜 悦 （東京学芸大学教授 医学博士）

神 田 茂 雄 （埼玉技能開発センター 溶接科指導員）

訓研調査研究資料

第57号

技能診断にもとづく溶接技能者の
技術力の向上について
～公共向上訓練コース設定に関する研究～

発行 1985年3月

発行者 職業訓練研究センター
所長 多賀谷 敏 夫
〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427-61-9911(代)

印刷 (有) 旭 印 刷
相模原市上溝4-16-23
電話 0427-61-3488